

2019.1.17
vol.72

シネマ・ド・リぶらの コラム・ド・シネマ

映画
を
読む

本日の上映作品『私の頭の中の消しゴム』



建設会社の社長の娘スジンは妻ある男性と不倫の関係にあったが、ついに破局を迎える。その夜、傷心のまま彷徨っていた街で一人の男性チョルスと出会う。やがて再会した2人は、ほどなく恋に落ち、幸せの中結婚する。甘い新婚生活に浸る2人だったが、いつの頃からかスジンの物忘れが度を越したものとなっていく。心配になって医者に診てもらったところ、若年性アルツハイマーという思いもよらぬ診断結果を告げられるのだった。

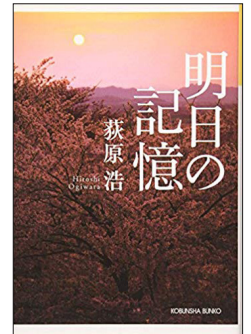
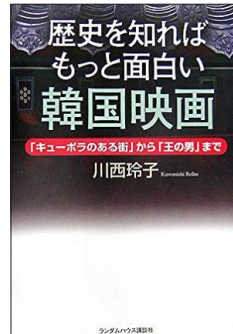
監督・脚本：イ・ジェハン

撮影：イ・ジュンギユ

出演：チョン・ウソン、ソン・イエジン、
ペク・チョンハク、パク・サンギユ

製作：2004年 韓国 カラー 117分

『「映画ファンのための」韓国映画読本』 “男目線”のコリアン・ムービー・ガイド		ソニー・マガジズ	778.221
『韓国映画ベスト100』『JSA』から『ゲムル』まで	寺脇 研／著	朝日新聞社	778.221
『韓流道』	八幡 薫／著	宝島社	778.221
『韓流熱風』映画・テレビドラマ・音楽-強さの秘密	ユ サン Chol／著	朝日新聞社	778.09
『アリラン坂のシネマ通り』韓国映画史を歩く	川村 湊／著	集英社	778.221
『韓国映画躍進の秘策』韓日文化交流の新時代	金 鍾文／著	パンドラ	778.221
『恋する韓流』	田代 親世／著	朝日新聞出版	778.221
『歴史を知ればもっと面白い韓国映画』 「キューポラのある街」から「王の男」まで	川西 玲子／著	ランダムハウス講談社	778.221
『はぐるま』若年性アルツハイマーの妻と私	筒井 誠司／著	文芸社	916
『若年性アルツハイマーの母と生きる』	岩佐 まり／著	KADOKAWA	916
『本当の若年性アルツハイマー病』 誤解だらけの難病を理解する最新知識	志村 秀樹／著	アスペクト	493.758
『明日の記憶』	荻原 浩／著	光文社	913.6



コラム『私の頭の中の消しゴム』

死より切ない別れがある K.M.

今回は、2010年12月の第6回上映会作品の再上映です。2001年の日本のTVドラマ『Pure Soul ～君が僕を忘れても』(2001年、読売テレビ制作)が原作といわれるこの韓国作品、2005年の日本公開の際、知っていながら日本でそれを言う人がほとんどいなかったのは、この作品が韓国版リメイクというより、完全に新たな世界を作り上げていたからでしょう。ちなみにこの作品、日本公開時4週連続興行収入第1位を記録。さらに日本での興行収入の累計総額は30億円に上ったそうです。

主人公二人の出会いの場所となるコンビニは「ファミリー・マート」、そこで二人を結びつける重要な役割を果たしたのは缶入りの「コカ・コーラ」、冒頭近くで最も印象的だったBGMはキューバとスペインを起源とするラテンの名曲「ラ・パロマ」。やがてストーリーが進み、主人公の結婚シーンのあたりに流れ印象的だったBGMは、歌劇「トゥーランドット」のアリア「ネッスン・ドルマ」で、トリノオリンピック开幕式でのパバロッチの絶唱と荒川静香のイナバウアーのBGMで日本でも一躍有名になった名曲です。ヒロインの恐らく「終の住み家」になる介護施設は、南部ヨーロッパの保養地を連想させる明るく美しい高台で、作品中では、その場所はソウルの東方約170kmの日本海に面した観光地カンヌン市ということになっています。

大人のおとぎ話のようなこの純愛映画の舞台として、周到にお膳立てされた無時代・無国籍的雰囲気の中で、私は、オープニング・クレジットのハングル文字以外、ほとんど韓国映画という印

象は受けませんでした。所詮つくりごとの純愛物語なのだという先入観があった私ですが、ストーリーの進展に従い主人公に素直に感情移入することができ、この純愛映画の世界に浸ることができました。

徐々に記憶障害が進行し、肉体的な死よりも精神的な死が先に訪れるといわれる「若年性アルツハイマー病」は、現実には決してキレイごとではすまない重く厳しい病です。商業映画として企画に乗せることすら難しかった時代に、この病を正面から取り上げて、純愛物語の仕掛けにすることに成功したイ・ジェハン監督の力量に感銘を受けました。恐らく成功の最大要因は、「寡黙で無骨だが、感情豊かで優しいガテン系男子」と「おっちょこちょいだが純粋なお嬢様女子」を絶妙に演じた、男性からも幅広い支持を集める硬派俳優のチョン・ウソンと、無茶苦茶スタイルがよく、純粋で可愛いソン・イエジンの存在感あふれる好演だと思います。

「カンヌン市から届いたヒロインの手紙」、「介護施設での再会時のスケッチブックの中のイメージスケッチ」、「理髪店でのローションの香りへのヒロインの反応」、「ファミリーマートでのヒロインのセリフ『ここは天国なの?』」、「ラストシーンで遂に使われるセリフ『サランへ』」など、大人のおとぎ話を無事軟着陸させるための、イ・ジェハン監督のきめ細かな仕掛けのに乗せられて、恥かしながら私も涙腺がうるみました。「とやかく考えず悲恋に浸るが勝ち!」というキャッチ・コピーに同感の117分でした。

12/20 『女だけの都』の感想

- ・結構楽しめました。ストーリーが愉快でした。今から80年前の映画ですが、人間に通う心は永遠ですね。あらためて「人生を味わうよい映画」に巡り合いました。功績を「妻から夫に譲るくだり」は日本的ですね。まあ、男性は強く生きよ！の教訓でもありました。
- ・暗い戦争の中での一時、ユーモアがあって、心暖かく感じました。最後、町長夫人をたてては、日本的ですのう。
- ・男たちが雲隠れしたり、町長を死んだことにしたり、とても滑稽で面白いと思いました。町長の妻が立ち上がり、女性たちの勇敢さに感動しました。オランダの風景がよくわかりました。モノクロでも、とてもきれいでよかったです。全体的に面白い映画でした。
- ・一番賢くて勇敢なのは町長夫人でしたね。最後に町長を立てるところはとても素晴らしい。楽しい映画でした。
- ・とても楽しい映画でした。女性の逞しさを実感しました。普段、日本の女性には感じないのですが。
- ・女は強い。たくましい。町長夫人は節度を守り夫のため娘のため。
- ・女は強し。賢い女は決して負けないですね。
- ・銃床の先に花束、戦争はおきないのに、だんな様最高！
- ・二年前に岡崎市美術博物館にて観た「ブリューゲル展」を思い出しました。映画にもブリューゲルが登場し、その当時のこと（背景、風俗）がよくわかりました。
- ・オランダの風景、ブリューゲルの絵、ユーモアと音楽、楽しい映画でした。
- ・17世紀ヨーロッパの様子が生き生きと描かれていて面白かったです。
- ・昔の人の洋服がわかりました。あんなふうだったんですね。
- ・観ていて楽しかったです。フランス映画でしょうか？フランスは今でもこういうタイプの映画が多いのでしょうか？私見ですが多くはないと思います。ただ、この作品の舞台に相当するベルギー、オランダ及びこの作品を製作したフランスの「国会議員に占める女性議員の比率」が41%、36%、35%と極めて高いのが興味深いです。ちなみに日本は14%と先進国中最低水準です。（データは2018年3月時点）
- ・日常とかけ離れた世界を楽しみました。
- ・観たあと気持ちが暖かくなりました。年末にとってもいい映画を見せていただきました。
- ・幸せな気持ちになれました。ありがとうございます。ちょっと切ないけれど。
- ・よい機会をありがとうございました。
- ・感激しました。ありがとう。
- ・ユーモアのある楽しい映画でした。
- ・女は強い。
- ・とても楽しい映画でした。ありがとうございました。
- ・字幕の消えるのが早くて、あまり話が分からなかった。できたら日本映画がよかった。
- ・『羅生門』、『椿三十郎』を検討願います。
- ・次回、『ヴェニス商人』が見たいです。

注意



上映中の携帯操作は、周りの方の迷惑になりますのでご遠慮下さい。また、観賞マナーを守り、終了後も明るくなるまで席を立たないようにお願いします。上映開始時間を過ぎての入場は、ご遠慮ください。

サロン・ド・シネマについて

ホールホワイエにて寄付金でお茶菓子の提供をしています。映画の上映前にご利用ください。但し、「夜の部」には開催しません。

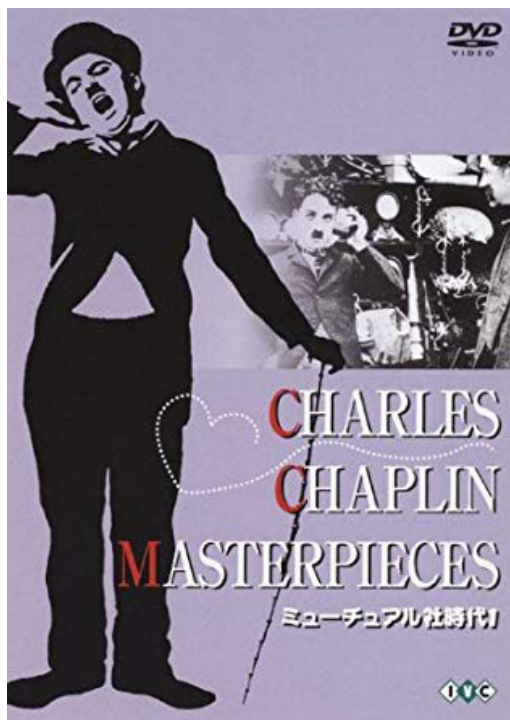
りぶらホールにはヒアリングループが設置されています。補聴器を利用されている方は、Tモードに切り替えてください。



第73回上映会のご案内

チャップリン ミューチュアル社時代1

字幕上映



2月21日(木)

① 10:30 ~ ② 14:00 ~ ③ 18:30 ~

三度移籍した先は、ハリウッド史上空前のギャラで招かれたミューチュアル社。俳優としてのキャラクターを練り上げ、原案・脚色・監督の全権を任されて、完成度の高い驚異の天才芸を発揮する。「チャップリンの替玉」「チャップリンの消防夫」「チャップリンの放浪者」「午前一時」「チャップリンの伯爵」「チャップリンの番頭」の6作品を収録。これらの作品から、後の長編の名場面に結晶してゆく原点が垣間見える。

監督：チャールズ・チャップリン

出演：チャールズ・チャップリン

製作：1916年 アメリカ モノクロ 126分

2019年度の上映のご案内 (上映作品は変更になる場合があります。)

2020年1月～3月ホール改修工事のため、2019年度の上映会は下記の通りとなります。

第74回	4月18日(木)	『黄色いリボン』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第75回	5月16日(木)	『素晴しき放浪者』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第76回	6月20日(木)	『黄金の腕』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第77回	7月18日(木)	『ゴリオ爺さん』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第78回	8月22日(木)	『ティファニーで朝食を』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第79回	9月19日(木)	『自由を我等に』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第80回	10月17日(木)	『終着駅』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第81回	11月28日(木)	『キリマンジャロの雪』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~
第82回	12月19日(木)	『ビューティフルメモリー』	① 10:30 ~	② 14:00 ~	③ 18:30 ~